

けやきニュース

No.67

令和2年1月20日発行
社会福祉法人 弘優尽会
発行責任者 萩原 淳子
〒336-0031

埼玉県さいたま市南区
鹿手袋7-13-4

TEL 048-710-6888
FAX 048-710-6890
<http://www.koyuzinkai.com>
koyuzin@m08.alpha-net.ne.jp



けやきホームズ後援会
会長 石田 寿美

新たな時代を

生き抜くために

社会福祉法人 弘優尽会

理事長 萩原 章弘

新年あけましておめでとうございます。令和となり、新しい時代のスタートです。

昨年秋には台風十九号が襲来し、さいたま市にも豪雨により甚大な被害が発生しました。午前三時五

分に発令された避難勧告は、荒川水系等の増水による河川氾濫に依るものでした。桜区の油面川の排水機が水没し流域の一部が床上浸水となりました。福祉施設にも甚大な被害が発生しました。けやきホームズでも六十名のご利用者さまと職員がおりますので、従前より防災計画の対策をたて備えています。

今回の対策としては、高台避難が常套手段でしたが、高台避難を断念し事前に上階避難をしておりました。さいたま市防災課に「通告」の上での結論でし

た。今回は大事に至りませんでしたので安堵しておりますが、今後ご利用者様の安全、安心を独自に保障できるかは喫緊の命題と考えています。幸い非常用発電機を屋上に設置しておりますので、発災後も消防設備はしばらくの間利用できると思います。昨年末、空調設備機器等の大規模改修も無事終了しました。

今後は、昨年から始まった看取り体制により

引き続き安定した対応ができるよう取り組んで参ります。

石田後援会長様をはじめとするけやきホームズ後援会の皆様のお支えを糧に、包括支援センター、学童クラブ、保育園など「福祉の総合センター」として、地域の付託に応えるべく努力して参ります。

皆さんの活動です。

私はスタッフの皆さん利用者一人ひとりの尊厳を大事にした活動を担つているのを見聞きしてきました。利用者の皆さんが一層充実し、安心した生活になる様に、私達後援会はスタッフと利用者の方々の接点になることが大事な任務です。

令和元年の元号精神に沿う様な後援会活動になる様頑張ります。本年もどうぞよろしくお願い申上げます。



あけまして
おめでとう
ございます

社会福祉法人
弘優尽会

施設長 萩原淳子

毎年この時期は感染症対策のため「面会をお断りする事」があり、ご家族の皆様に「ご不便をお掛けする事」があります。



秋口よりおこなつていた設備機器の大規模修繕が
ほぼ完了しました。工事の都合上一日全館エアコン
停止をしたのですが、暖冬のおかげで準備した暖房
機器のみでも問題なく過ごすことができました。フ
ロアの移動等で職員も大変でしたが、皆様にもご不
自由をおかけしました。準備期間が短く、終わって
みれば他にもいくつか改修すればよかつた設備もあ
りましたが、度重なる故障で不便だったこ
とも解消することができました。ご協力
ありがとうございました。



十一月 紅葉
ドライブツアーリー

The image features large, stylized Korean characters in white against a blue background decorated with white snowflakes. The characters are arranged in two rows: the top row contains a single character '나' (Na) and a character '나' followed by a hyphen and another character '비' (Bi); the bottom row contains a character '나' followed by a horizontal bar and a character '비'.



本格的な冬の到来を迎へ、寒さが厳しくなつてきましたが、風邪など引かれて



12月25日に保育園と学童にバルーンアートの
プレゼントを頂きました！サンタさんから手渡
しされ園児や児童は大喜びでした♪



thank
you



MERRY
CHRISTMAS

会。スタッフからは歌やハンドベルのプレゼントをしました。また出し物の髪ダンスを一覧になられ、皆すま大笑い。令和元年の締めくくりにふやわしい行事となりました。

C 今年一年も楽しい企画をして頂けますので、どうぞよろしくお願い致します。A・M



初詣



今年も皆様一人ひとりが安心してお過ごし頂けるようなサービスを提供できるよう職員一同努力していきます。

M・T

「今年も皆様一人ひとりが安心してお過ごし頂けるようなサービスを提供できるよう職員一同努力していきます。」

「美味に、「美味

やき神社にて入居者様全員参拝し神社を前に手を合わせ長くお祈りされました。お昼にはお重に入ったおせち料理や甘酒

今年のお正月は手作りのけ

桃味の炭酸水と紅茶を選択し、用意した量もあつという間になくなりました。特にホテトチッカスは少し硬いかと心配でしたが、しようと美味しいと大好評でした。

春から秋の開催となり、残念ながら室内の実施でしたが、BGMを聞きながら楽しいひと時を過ごせたのではないかと思ひます。

Y・K



特養

栄 栄春課より

12月25日にはクリスマスランチをお出ししました。学童クラブの皆さんにはこの日を楽しみにしてくれていて、星型のハンバーグをとても喜んでくれました。

E・O

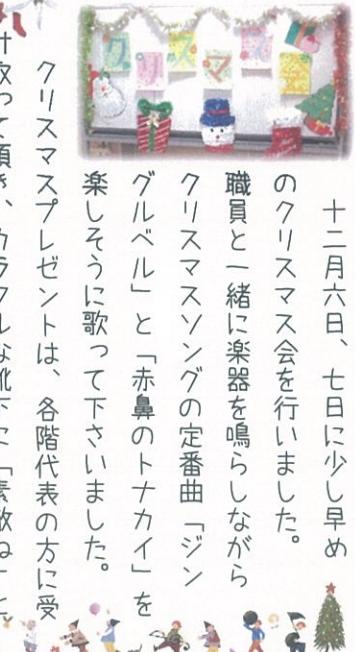
〈クリスマスマニュ―ル〉

- *シーフードピラフ
- *南瓜のポタージュスープ
- *星のハンバーグ
- *ポテトサラダ



短い時間での会でしたが、皆様から「楽しかったよ」と声を頂き、本年も楽しい行事に参加頂けるよう職員一同頑張っていきます。

H・M



オランダから 視察団再来



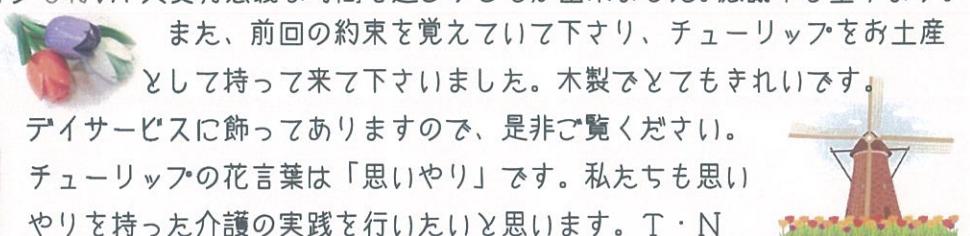
10月25日、オランダの福祉医療関係者による視察団として、20名程が来所されました。7月に来所された方とは別の方々でしたが、日本の老人ホームをとても興味深そうに見学していました。

今回は、同じ南区西部圏域の種別の違う施設



である老健「葵の園浦和」様とグループホーム「愛の家松本」様にも参加して頂き、それぞれ施設の役割や課題等についてディスカッションも行い、大変有意義な時間を過ごすことが出来ました。感謝申し上げます。

また、前回の約束を覚えていて下さり、チューリップをお土産として持って来て下さいました。木製でとてもきれいです。ティーサービスに飾ってありますので、是非ご覧ください。チューリップの花言葉は「思いやり」です。私たちも思いやりを持った介護の実践を行いたいと思います。T・N



十一月五日・十二日けやきカフェを実施しました。今回は、各フロア混合で行った為いつもより賑やかな雰囲気となりました。

普段召し上がる機会のないケ

キー や ポッ カー ン、飲み物は

クリスマス会を行いました。職員と一緒に楽器を鳴らしながらクリスマソングの定番曲「ジングルベル」と「赤鼻のトナカイ」を歌って下さいました。

クリスマスプレゼントは、各階代表の方に受け取って頂き、カラフルな靴下に「素敵ね」と笑顔が見られました。

十二月六日、七日に少し早めのクリスマス会を行いました。

介護予防教室

暑さ寒さがハッキリしない11月中旬に、けやきホームズでは恒例の介護予防教室を開催しました。今回は行政書士の先生をお招きして「相続問題」「空き巣対策」をテーマに講義頂きました。参加者の皆さまは自身の終活と照らし合わせて、質問も多く、関心の高さが伺えました。いずれやらなければいけない問題でも「どこに相談したらいいのか？」と最初の一歩が踏み出せないことが多いかと思います。私自身も両親の先々を考えた時に子どもの立場として参考になる内容でした。介護予防教室で終活をテーマにしたのは初めてでしたが、今後も皆様の関心が寄せられる内容をテーマにしていきたいと思っております。来年も2月に開催を予定しております。

奮ってご参加お待ちしております。 Y・A



居宅介護支援センター

保育園



年末は「お餅つきごっこ」で鏡餅を作ったり、年賀状を描いて自分でポスト投函するなど、子どもたちも新年を迎える準備で大忙しました。お正月はお家でご馳走をたくさん食べた様子が伺え、年始はみんなのほっぺがふくらしていましたね。今の時期、保育園では絵かるたやコマ回し、外に出れば凧上げなどの遊びが盛んです。日本の良き伝統を遊びに取り入れ、子どもたちと季節を感じながら、今年も楽しく過ごしていきたいと思います。 E・I



編集後記

9月より行っておりました大規模修繕工事が12月末をもって完了致しました。ご利用者の皆様にはご不便をお掛けいたしましたが、ご理解とご協力のおかげで無事終了しましたこと深く感謝申し上げます。設備が一新したことで快適な年明けをお過ごし頂けましたら幸いです。

お知らせ

次回のけやきニュースは5月30日発行予定です。

編集委員／ 清水・佐田
題字／ 遠藤初代施設長

学童



昨年は、第一・第二共に地域施設との交流を通して、たくさん事を学ぶ機会となりました。また、小学校校庭、第二の駐車場や運動フロアを活用した遊びも行い、クラブ全體で楽しむ一年となりました。

今年も旧童のみんなと一緒に昨年に負けないような楽しい年に出来るよう保育していくたいと思います。Y・S



居宅支援センター

二月末、若年性認知症スポーツ大会に参加しました。埼玉県・さいたま市認知症の人と家族の会・埼玉県作業療法士会の共同開催で三回目を迎える今年は約八十名の参加者がありました。

八班でバレーと卓球の総当たり戦。肌寒い体育館も熱気に包まれました。スポーツを通じ当事者同士や専門職が交流を深めることで、大変有意義な時間でした。交流の輪が市民や地域にさらに広がっていいくことを願いつつ、業務に向き合っています。

M・N